

○新春をがんばる

明けまして、おめでとうございます。

今年も、お正月三が日と、それに続く土曜、日曜には、町内会の総会をかねた初より(初談会)のあいさつ回りにおわれています。「民主党は、しっかりせんとかかん。」「小泉に、やられとつたらあかんぞ。」「中川さん、これから大変やな。」励ましやらお叱りを、しっかりいただきます。5分間スピーチに心をこめて挨拶。一日に23箇所が限度。家に帰ると、頭の芯までフワツとしています。

○国会日程協議の紛糾つづく

議院運営委員会で国会日程に関する話し合いが始まりました。与野党の筆頭理事同士で、つめられるところは事前につめる努力(議院運営委員会の理事会前に開かれる筆頭理事間協議)をしていますが、入り口論で壁に突き当たって、今のところ前には進みません。特に、今回の代表質問については、「時間短縮をして簡単に」の一点張りです。国会の議論まで封殺しようとは、いったい与党の中はどうなっているのか。「小泉独裁に立ち向かう侍はいないのか、自民党。」と、こっちから檄を飛ばしたくなるほど、不気味な与党議員の状況が気になります。

唯一成果があったとすれば、17日に国土交通委員会の耐震強度偽造問題で、ヒューザーの小嶋社長に対する証人喚問を与党が受け入れたことです。続いて、伊藤公介議員など関係者4名の参考人召致を国土交通委員会の理事が要求しているので、私も議院運営委員会の理事として援護射撃をしています。こうした努力をしていることが国民に伝われば、業界内部やマスコミからの情報提供も活発になってきて、決め手になる資料を基に、真相解明ができてくる。その思いです。

○これでいいのか外国人就労問題

19万の人口を持つ鈴鹿市。外国人登録は9700人に達しているが、不法就労を考えると実際の外国人労働者は2万人近くになり、人口の1割近い数字と見ていいのではないかと警察の関係者が指摘をします。隣接の四日市市や亀山市も、人口に対する割合は、同程度のところにあると考えられます。

広島で女兒を殺害したペルー人が鈴鹿市で捕まりました。市民から、犯罪の増加はこの外国人労働者の割合と比例しているのではないかと問われます。鈴鹿市では年間230人の犯罪者を検挙して、外国人はその中の60人。ほとんどが、不法滞在で追い詰められ、全国を転々とした中での犯罪だと言います。また、これとは逆に、外国人労働者側に味方するような形を装って、派遣会社の不正をつき、そこから金をゆする悪徳ビジネスまで出てきた、と現場での報告があります。

外国人労働者の受け入れは日本の経済を大きく支え、周辺国に対しても繁栄の果実を共有する上で必要だとするならば、日本での就労制度が今のような形式主義の中途半端では、ダメです。見直しが必要です。私の今年を中心テーマの一つです。

○中年太りはイメージダウン

「中川さん、テレビで見ると、すっかり肥えたね。」久しぶりの友人からの電話でした。反省をしています。

現在、75kg。70キロ以下にすることが今年目標。9時を過ぎたら食を絶つ。青汁を飲む。歩く。ゴルフでも一緒に。などなど、たくさんアドバイスをいただきます。しかし、一番堪えるのは、東京の娘と、地元のカミさんが連携して「正春管理メニュー」を実施し始めたことです。